



さみしい5月

校長 村上 裕江

5月は1年の中で一番好きな月です。緊張することの多い4月の後に来る、ゴールデンウィークの連休も楽しみの一つです。気候もちょうどよく、ちょっと日差しが暑いくらいがこれから来る夏を思わせて気持ちがワクワクします。学校行事も例年ならば、小田小学校では6年生の安塚宿泊体験学習がありますし、学校によっては春の運動会があります。高学年の児童が、大きな学校行事に向けて、今年はいよいよ自分たちの出番だという意気込みで張り切る姿を見るのも頼もしく、その成長がうれしいものです。また、1年生が徐々に学校に慣れていく様子が「学校探検」を行う中で見られるのも楽しみです。

そんな5月が、2020年の今年は、学校は一斉臨時休業が3月より続き、さらに緊急事態宣言の中のゴールデンウィークとなりました。3密(密閉・密集・密接)にならないことが新型コロナウイルス感染症蔓延防止に何より大切という中、保護者の皆様、地域の皆様には、多大なご協力をいただいております。小田小学校は児童の緊急受け入れを続けながら、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、教室や水飲み場、トイレ、なども消毒し、学校再開がスムーズに行われるようにと日々準備しております。

2020年は、何年か前から伝えられているように、新学習指導要領の全面実施の初年度です。「アクティブラーニング」などという言葉で「主体的・対話的な深い学び」という文言が新聞や雑誌、SNSでの教育関連記事でよく見かけたのも、だいぶ以前のことで、プログラミング教育や外国語科の導入なども話題でした。小田小学校でも新学習指導要領にふさわしい学習をと、昨年度までに準備を進めていたことを始めようとしていたところ、今回の一斉臨時休業となり、計画の見直しが必要です。

今回の一斉臨時休業でネットを用いての学習の可能性が一躍脚光を浴びました。横浜市でも、動画を配信して学習保障の一助を試みました。お使いになったご家庭では、お子さんの反応はいかがでしたでしょうか？私も視聴してみました。説明はわかりやすく、視聴している子どもたちが興味をもつようにと様々な工夫がされています。しかし、何か足りない、というさみしさを感じます。一人での学びもよいところがありますが、自分以外の声や音や動きがないことが、想像や思考の広がりを小さくするように感じました。

今回のことで、学び方をもう一度見直し、子どもたちの未来にとって今できることを最大限行うことが教育の務めです。今は、人と触れ合うことができないさみしい5月ですが、その中から新しく見えてくることもきっとあるはず。これからの日々を、今回のことを通して学んだことを未来に生かす日々をぜひ、していきたいものです。